

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	柔道整復スポーツ研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎実習室およびPCルーム
担 当 教 員	川村智広・仲村剛・岩村一成・澤卓実	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
興味のある分野・内容の先行研究を調べ近い内容でグループを作成し、最終発表を目標に計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験： % 2. レポート： % 3. グループワーク中の態度・発表:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など						
《授業外における学習方法》						
各自で、研究対象となる論文を検索したり、雑誌を閲覧し、過去にどのような研究が、どのような方法で行われているかを知る。 また、統計処理も必要となるため、前期にて履修した情報科学を復習しておくことも必要である。						
《履修に当たっての留意点》						
社会的ニーズが激しく変化する現代においては専門技術はもとより主体性をもって事にあたり、創造力、応用力を持ち、自立して行動できる人材が求められている。つまりは論文を作成する目的は、ただ研究内容をまとめて発表するだけでなく、“自ら考え、行動し、そして、それを纏め上げる力”を養うことを目的としています。日々自己研鑽に励み職業人としての能力を養ってください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレ測定結果からの測定方法および測定項目の再考①		パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに測定項目を含めたプロトコルの再考			
第32回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレ測定結果からの測定方法および測定項目の再考②		パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに測定項目を含めたプロトコルの再考			
第33回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定対象・場所等の計画および確認①		パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに測定項目を含めたプロトコルの再考			
第34回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定対象・場所等の計画および確認②		パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに測定項目を含めたプロトコルの再考			
第35回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う①		パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第37回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第38回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第39回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う⑤	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第40回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	各グループごとにデータの測定を行う⑥	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定		
第41回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータの集計を行う①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定結果集計処理		
第42回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータの集計を行う②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれての測定結果集計処理		
第43回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータをもとに発表原稿の作成をおこなう①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれてのPPT作成		
第44回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータをもとに発表原稿の作成をおこなう②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれてのPPT作成		
第45回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータをもとに発表原稿の作成をおこなう③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとに分かれてのPPT作成		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	柔道整復スポーツ研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎実習室およびPCルーム
担 当 教 員	川村智広・仲村剛・岩村一成・澤卓実	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
興味のある分野・内容の先行研究を調べ近い内容でグループを作成し、最終発表を目標に計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験： % 2. レポート： % 3. グループワーク中の態度・発表:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など						
《授業外における学習方法》						
各自で、研究対象となる論文を検索したり、雑誌を閲覧し、過去にどのような研究が、どのような方法で行われているかを知る。 また、統計処理も必要となるため、前期にて履修した情報科学を復習しておくことも必要である。						
《履修に当たっての留意点》						
社会的ニーズが激しく変化する現代においては専門技術はもとより主体性をもって事にあたり、創造力、応用力を持ち、自立して行動できる人材が求められている。つまりは論文を作成する目的は、ただ研究内容をまとめて発表するだけでなく、“自ら考え、行動し、そして、それを纏め上げる力”を養うことを目的としています。日々自己研鑽に励み職業人としての能力を養ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定したデータをもとに発表原稿の作成をおこなう④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
	各コマにおける授業予定	グループごとに分かれてのPPT作成				
第47回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現段階での進行状況の発表①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
	各コマにおける授業予定	担当教員に進捗状況報告				
第48回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現段階での進行状況の発表②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
	各コマにおける授業予定	担当教員に進捗状況報告				
第49回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	中間発表データからの最終発表原稿への構成および追加測定の実施①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
	各コマにおける授業予定	担当教員による指摘された部分の修正する				
第50回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	中間発表データからの最終発表原稿への構成および追加測定の実施②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
	各コマにおける授業予定	担当教員による指摘された部分の修正する				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第51回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	中間発表データからの最終発表原稿への構成および追加測定の実施③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員による指摘された部分の修正する		
第52回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	中間発表データからの最終発表原稿への構成および追加測定の実施④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	担当教員による指摘された部分の修正する		
第53回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発表データの確認と資料の作成①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表用PPTの調整と論文作成		
第54回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発表データの確認と資料の作成②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表用PPTの調整と論文作成		
第55回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	公会堂での発表のためのリハーサル①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表用PPTの調整と論文作成および発表練習		
第56回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	公会堂での発表のためのリハーサル②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表用PPTの調整と論文作成および発表練習		
第57回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	公会堂での発表①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表本番		
第58回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	公会堂での発表②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表本番		
第59回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	グループごとに、作成および発表の振り返りを行い、今後の継続テーマを考える。	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表後の振り返り、継続課題の検討。論文作成。		
第60回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	グループごとに、作成および発表の振り返りを行い、今後の継続テーマを考える。	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	発表後の振り返り、継続課題の検討。論文作成。		